

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化 【3】 民間技術の積極的な活用 施策12 】

W2R工法（側溝修繕工法）による工事コストの改善

工事名：H20加賀管内道路維持工事

概要：（従来）手はつり+蓋受け新設 ⇒ （今回）W2R工法

効果

- ①従来は、既設側溝を手はつりして不要部を撤去後、型枠を組み、コンクリートを打設して蓋受けを新設していたが、W2R工法では、専用の切断機を使って安全確実に不要部分の撤去が可能である。また、専用蓋を用いることで蓋受けを新設する手間が省ける。
- ②工期の短縮とコストの削減が図れる。また、騒音・振動が少ないので、周辺住民に対して影響が少ない。
- ③工事費を、3.2百万円から2.6百万円に改善。
（改善額 0.6百万円 改善率 18%）

従来（手はつり+蓋受け新設）



今回（W2R工法）

